

私はただ今議題となっております認第2号から認第8号、令和2年度野田市一般会計歳入歳出決算認定並びに各特別会計決算認定と水道事業、下水道事業会計決算認定に賛成する立場で討論致します。

令和2年度は、新型コロナウイルスが蔓延し、コロナ危機という未曾有の状況において感染拡大防止のために国内の経済活動の抑制を余儀なくされました。その後は主要貿易相手国における経済活動停止に伴い輸出が大幅に減少する等、感染症はその経済的な波及経路を広げながら、日本経済に甚大なる影響をもたらしました。

そのため、国及び市独自の新型コロナウイルス感染症対策費等の補正がされ、令和2年度一般会計、特別会計歳入歳出純計決算額は、歳入総額約1,012億、歳出総額約981億となり、前年度と比較すると歳入では、22.27%の増、歳出では、21.52%の増となりました。

次に、一般会計の歳入についてみると収入済額は約729億、自主財源は約299億、依存財源は約429億、前年度と比較すると自主財源が、15.12ポイント低下しました。

歳出の支出済額は、約705億、前年度と比較すると41.41%の増となりますが、構成比率を前年度と比較すると義務的経費は13.84ポイントの減、投資的経費は0.73ポイントの減、その他経費は14.57ポイント増となっています。

そのほか、新型コロナウイルス感染症関連経費は、約179億と歳出決算の25.42%を占めています。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、特別給付金の実施や緊急経済対策、各種イベントの中止、施設の利用制限等の様々な対策を講じられてきました。そのような状況を鑑みながら、項目別に申し上げます。

まず、総務費ですが、外国人増加に伴う窓口多言語対応事業、交通不便地域支援事業や庁舎の可搬型非常用発電機設置事業が実施されています。また、市独自のコロナ緊急対策事業として、地方創生臨時交付金を活用しての公共工事等における、公共工事等前払い金上乗せ貸付事業費、そして市民生活に必要な公共交通を維持する為に路線バス、タクシー事業者に対しての運行継続支援金の実施がされており、評価します。

民生費の社会福祉関係では、七光台会館大規模改修、障がい者地域生活支援拠点事業、そして、継続事業として老人福祉センターの大規模修繕工事に着手されています。児童福祉関係では、子ども医療の拡充や休日保育、特定こども・子育て支援施設等利用支援助成の開始や新規子ども館整備事業の進捗が図られていました。子どもからお年寄りまでの憩いの場と子育てしていく上での環境整備や医療費の拡充が実施されています。

また、コロナ感染症対策として、国の特別給付金、子育て臨時給付、ひとり親

臨時給付の実施や市独自の新生児特別給付、児童手当上乘せ、児童扶養手当上乘せ給付等が実施されております。

特に、新生児特別給に関しては、おなかにいる赤ちゃんとコロナ禍での出産という不安を抱える中で、野田市で出産してよかったなと思っただけの心温まる支援であったと高く評価します。できれば今後の状況に応じて延長も考えていただければと思います。

衛生費では、全市民を拡大した健康・スポーツポイント事業や関宿クリーンセンター解体事業、コロナ感染症に係わる市独自の緊急対策として、医療従事者、歯科従事者支援金や地方創生臨時交付金を活用しての高齢者のインフルエンザワクチン接種無償化が実施されています。また、指定ごみの追加配布、水道料金の全額免除の実施やコロナワクチン接種体制確保等、市民の健康増進や疾病予防、医療者への支援等も実施されており評価します。また、令和元年より、「さんあーる」ごみ分別アプリが普及してもうすぐ二年が経とうとしています。このアプリを取り入れたことによって、分別の間違えはなくなったのか、検証していただけたらと思います。その結果によっては、指定ごみ袋の記名制をなくしていく、あるいは、せめて個人情報の観点から記名制ではなく、番号制にしていくことも合わせて検討していただければと思います。

農林水産費では、農産物ブランド化として玄米黒酢農法の取り組みや就農支援事業等が実施されています。野田市の農業がもっと盛り上がっていただけるような仕掛けづくりを引き続きお願い致します。

商工費では、買い物弱者対策として、3つのコースで移動販売が実施されました。

販売する品数も増やし工夫がされ、とても喜ばれたことと思います。また、既存店舗のない場所に停留所を置くなど、配慮しながらも利用者の増、売上げの増となり、評価いたします。利用者があつてよかったとおもってもらえる宅配サービスであるよう引き続きよろしく願いいたします。

また、コロナ対策として、市独自の緊急対策では、地方創生臨時交付金を活用しての飲食店協力金、個人事業者協力金、給食の納入業者等への事業に係わる幅広い支援金給付を講じました。迅速な対応に感謝します。

土木費では、連続立体交差事業を始め、関連事業である野田市駅西土地区画整理事業費、愛宕駅西駅前広場等の進捗が図られていました。将来を見据えた整備や活用等を引き続きお願いいたします。

消防費では、高規格救急自動車の整備費、消防団器具置き場の新築工事、災害時の救助活動等に活用するドローンや救命ボート等の整備、熱中症対策や災害時の備蓄品の実施報告がありました。引き続き、限られた財源の中ではございますが、市民の為に更なる消防体制の強化をお願い申し上げます。

教育費では、小学校のトイレの洋式化に係わる改修工事、給水設備改修工事、雨漏りの改修等の施設工事の実施がありました。ですが学校の外にあるくみ取り式トイレの改修が進んでおらず、場所によっては、薄暗く、季節によってはにおいがきつい等の声があります。外トイレの早期改修を求めます。引き続き子供たちが心地よく学校生活を送れるよう教育環境のさらなるご尽力をお願いいたします。また、コロナ感染症に係わる市独自の緊急対策として、地方創生臨時交付金を活用しての修学旅行キャンセル補助金、修学旅行中止に伴う代替行事補助金を活用しての代替行事の実施がされてきました。中止にするのか否か判断が非常に難しかった時期であったと思います。子供たちのそばで日々奮闘している関係者の皆様には、感染対策を講じながらの教育活動となる代替行事の実施に感謝いたします。

最後に、保健体育関係では、総合公園庭球場改修が行われました。この改修によって心待ちにしているプレーヤーも多くいらっしゃると思います。スポーツするなら野田市と誇れるような各スポーツの環境整備にも期待をしています。

必要な一般財源の確保が厳しい状況でありながらも可能な限り市民サービスに影響がない形で執行されています。各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計決算認定においても適正な執行と判断し、賛成討論といたします。